

日本赤十字社と防災活動

中央防災会議

災害被害を軽減する国民運動の

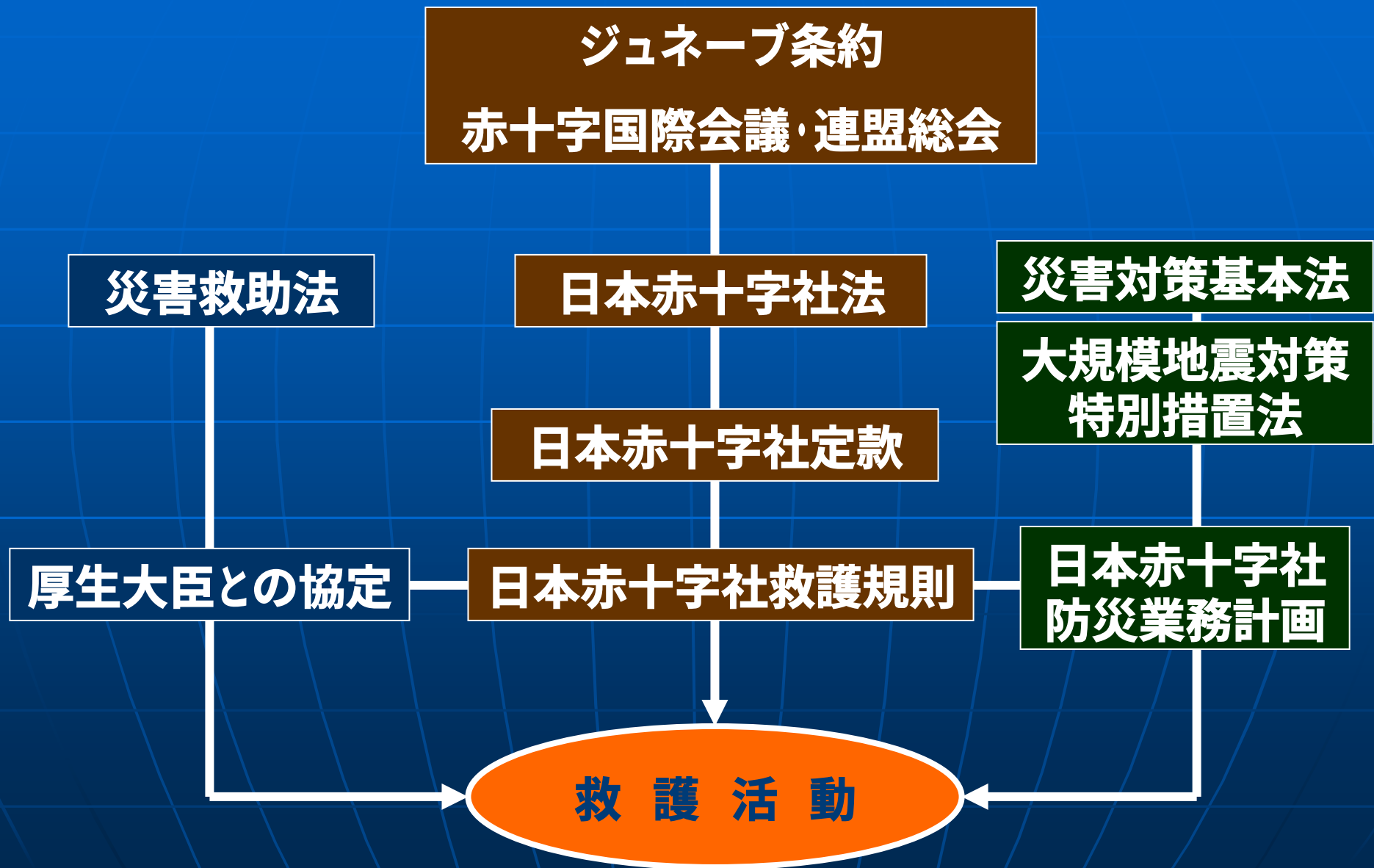
推進に関する専門調査会

第5回会議

2006年5月22日



日赤の救護活動の法的しくみ



日本赤十字社が行う救護活動

- (1) 医療救護
- (2) 救援物資の配分
- (3) 義援金の受付と配分
- (4) 災害時のボランティア活動

① 常備救護班

全国

485班 6,854人

一班の編成基準

医師 (班長)	1人
看護師長	1人
看護師	2人
主 事	2人
計	6人

災害の種類、状況に応じて増減



看護師等の養成

看護師養成施設数

大学(大学院併設3)	5
短期大学	2
看護専門学校	20
助産師学校	1
幹部看護師研修センター	1
計	29

1学年養成定員

	施設数	定員
看護師	27	1,345
助産師	5	74
保健師	6	645
幹部看護師	1	170
介護福祉士	1	50

＊ 大学、短期大学は学校法人日本赤十字学園が運営

救護員の訓練・研修体系

種 類

主 催

救護員指導者研修

本 社

ブロック単位の訓練

ブロック

支部単位の訓練・研修

支 部

施設単位の訓練・研修

病院等

その他 国・自治体の行う訓練への参加 等

被災地

被災地市町村 (行政)

被災地県 (行政)

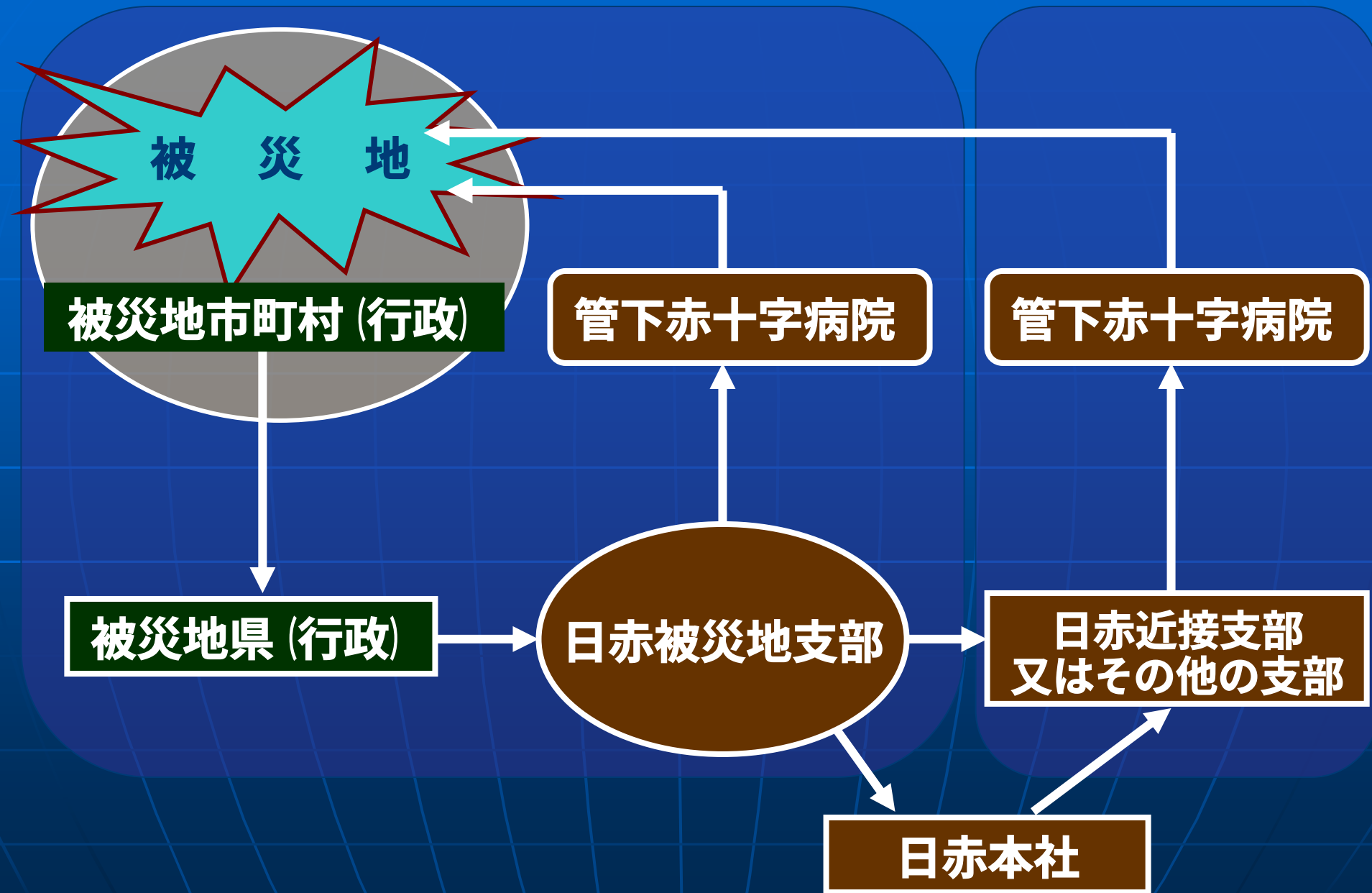
管下赤十字病院

管下赤十字病院

日赤被災地支部

日赤近接支部
又はその他の支部

日赤本社



赤十字防災ボランティア

災害時に日本赤十字社の実施する救護活動において、その能力、労力、時間等を自主的に無報酬で提供する全ての個人及び団体

活動内容例

- ・情報収集、連絡
- ・救護班活動の支援
- ・救援物資の輸送、配分
- ・避難所等運営支援
- ・外国人安否調査
- ・義援金の受付、整理
- ・活動ボランティアの支援
- ・支部、施設の業務支援

赤十字防災ボランティアの構成員

赤十字奉仕団員

地域奉仕団

青年奉仕団

特殊奉仕団

個人登録ボランティア

災害発生後における活動希望者

赤十字奉仕団

	団	団員数
地域	2,803	3,245,351
青年	151	6,117
特殊	668	37,744
計	3,622	3,289,212



赤十字防災ボランティア

被災者

防災ボランティア

現場での活動の担い手
(全国30,504人)

地区リーダー

現場レベルでボランティア
活動をコーディネート
(全国2,144人)

リーダー

支部単位でボランティア
活動をコーディネート
(全国638人)



救急法

日常生活における事故防止の知識と思われぬ事故や災害にあった人、急病になった人に対して、医師や救急医隊員に引き継ぐまでの手当などの知識と技術を学びます。



FA	受講回数(回)	受講者数(人)
平成15年度	8,473	329,656
平成16年度	8,350	321,476
平成17年度	9,632	371,644

水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、手当などの知識と技術を学びます。

雪上安全法

雪の楽しさを知るとともに、スキー場などの雪の上での事故防止や、けがなどをした人の救助、手当などの知識と技術を学びます。



水上安全法

WS	受講回数(回)	受講者数(人)
平成15年度	1,052	45,882
平成16年度	1,045	45,217
平成17年度	964	38,367

雪上安全法

SS	受講回数(回)	受講者数(人)
平成15年度	52	1,913
平成16年度	46	1,680
平成17年度	35	1,007

家庭看護法

健やかな老年期を過ごすために役立つ知識と、お年寄りが自立を目指して生活できるようなお世話の仕方、家庭での病人の介護の方法などの知識と技術を学びます。

幼児安全法

幼児期に起こりやすい事故の予防及び手当の実際、かかりやすい病気と看病の仕方などの知識と技術を学びます



家庭看護法

HN	受講回数(回)	受講者数(人)
平成15年度	3,008	88,300
平成16年度	2,526	70,022
平成17年度	2,493	67,166

幼児安全法

CS	受講回数(回)	受講者数(人)
平成15年度	1,865	46,610
平成16年度	1,972	49,316
平成17年度	2,164	52,976

災害時の高齢者支援



- 高齢者の身体と心
- 災害の種類と状況
- 高齢者自身がすべきこと
- 近隣の人々の防災ネットワークづくり
- 高齢者を介護する人の留意事項
- 準備しておく役立つもの
- 知っている役立つ知識・技術

青少年赤十字の登録状況

- ◆ 加盟校・園 10,557校・園
 - ◆ 小学校～高等学校の加盟率 (24.4%)
 - ◆ 対前年 (1.0%増)
- ◆ メンバー数 2,458,578名
 - ◆ 小学校～高等学校の加盟率 (16.4%)
 - ◆ 対前年 (2.8%増)
- ◆ 指導者数 117,759名

平成18年3月31日現在

なぜ青少年赤十字なのか

赤十字の願い

赤十字精神の普及

ジュネーブ条約普及
平和な世界の実現
赤十字運動の理解者
実行する

青少年赤十字

健康・安全

奉仕
国際理解・親善
気づき・考え
子の育成

学校教育現場の

自主、自立する
こども **の育成**
思いやりの心
奉仕の心
国際化に対応できる

生きる力の育成



3つの実践目標



◆健康・安全

人の命と健康、尊厳を大切にするための活動

◆奉仕

他者のために奉仕し、地域社会、地球規模の諸問題の解決に貢献する活動

◆国際理解・親善

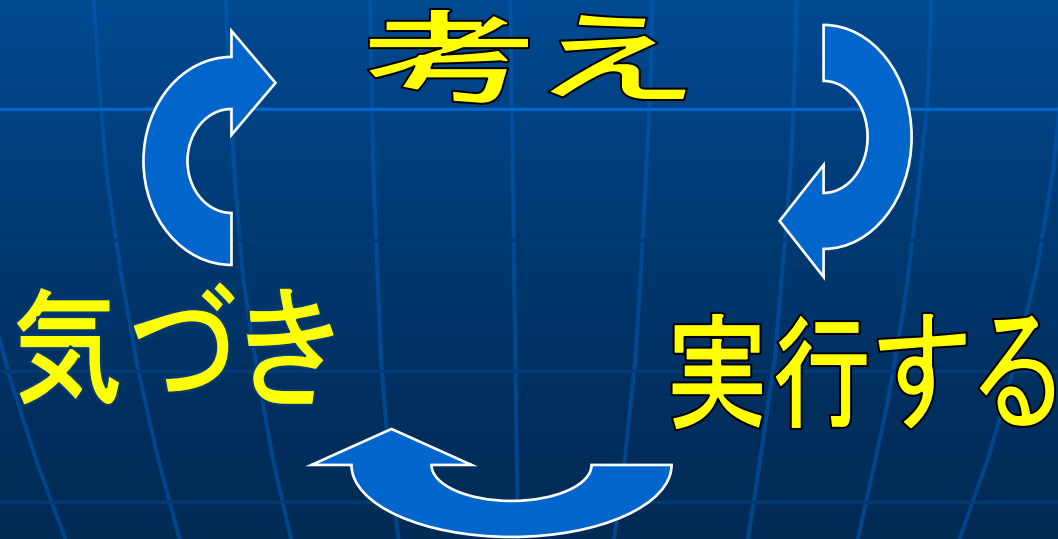
世界の友達と仲良くし、世界の問題に目を向けて、平和な世界の建設に貢献する活動



3つの態度目標



青少年赤十字のメンバーは、物事に良く気づき、気づいたことをよく考え、考えたことを行動に移せるようになることを生活態度の目標としています。



防災出前講座

- 愛知県知多市赤十字奉仕団
学校への防災出前講座
対象： 学童・教員・保護者
目的： 自助・共助の力を育てること
併設： 防災ポスター展示会
- 日本赤十字社和歌山県支部
対象： 小中高校
目的： 防災力を高めること (学校・家庭で)

防災教育ネットワーク

学校での防災・避難計画

- 先生、児童生徒が参加して計画する
- 複数の避難経路を計画する
- シミュレーションによるイメージトレーニング
- 実地訓練をする
- 訓練結果で計画を見直す

家庭における災害準備

- 家族で話し合おう
- 家庭での自分達の安全対策について
- 特にお年寄りなどの安全対策を
- 家庭から避難所までの経路の確認
- 家族で避難訓練
- 災害グッズの確認と用意



5月は
赤十字運動月間
です。

+

活動資金にご協力ください。

